

サステナブル新宿

英ちゃんとSDGs対談

新宿でSDGsに取り組む団体と、新宿で12年建築会社を営む三建工業の今井さんが対談し、サステナブルな新宿を発信していく連載企画。今井さんの会社では、廃材を使用した新たな家具・インテリアの開発や製造など積極的にSDGsに取り組まれているとのこと。この企画を通じて、新宿で更なる地域の繋がりを深めていきます！



飯田貴也

今井英治郎

第3回 テーマ：「環境教育」「未来のあたり前」を作る 新宿環境活動ネット 飯田貴也さん

未来を見据えた
子供たちへの環境教育

今回は新宿区を中心に環境学習をコーディネートするNPO法人「新宿環境活動ネット」の代表理事であり、環境学習コーディネーターも務める飯田貴也さんをお迎えしての対談をお送りします。
今井 まずは活動内容を教えてください。ただけですしょうか。

飯田 私たちは持続可能な未来を目指し、環境学習を広げるためのお手伝いをしておりまして、中でも次世代人材育成、子供たちに向けた教育活動に力を入れています。具体的には区内の小中学校への出前授業などをコーディネートしています。

今井 子供たちを対象にした活動がメインになっている理由は？

飯田 今、新宿区では2050年にCO2排出量を実質ゼロにするという「ゼロカーボンシティ新宿」を掲げています。2050年に大人になる世代に働きかけることで、新しいあたり前を作っていくといいなと考えているんです。

今井 なるほど、「新しいあたり前」っていいですね。確かに今の若い世代の環境意識は、僕らの世代とはずいぶん変わってきている気が

します。ごみの分別や環境に配慮した商品を選んだりすることがあたり前になってきていますよね。

地域や企業を巻き込んで
大人と子供が学び合う場に

今井 地域や企業とも連携して活動を展開していますよね。周囲を巻き込んで環境を考えていくという取り組みはとても興味深いです。飯田 新宿って、日本屈指のオフィス街で企業が集結している。そして学生街でもあるので若い人が多い。さらには新宿駅というターミナル駅に国内外から人・物・情報が集まってくる最先端の街でもあるわけです。こういった新宿らしさを活かした活動を展開できないかと考え、区内の企業の方にゲスト講師になっていただく出前授業を行ったりしているんです。

今井 活動を続けてきて、どんな手応えを感じていますか？

飯田 強く感じるのは、大人と子供、双方の学び合いの大切さです。今井 学んでいるのは子供だけではない、ということですね。飯田 そうなんです。大人は子供に伝えることによって自分の活動を整理できる。そこから見えてくることがたくさんあるんです。企

業同士手と手をとって生きていく時代だと感じています。企業人として100年先を見据えてやっていかないといけないと、最近すごく感じるんです。

環境活動は先を見据えて
取り組むことが大切

飯田 新宿環境活動ネットは法人化してから21年経つんですが、当時小学生だった子供が今は大学生・社会人になって伝える側になっている。長く続けることの意義を感じます。

今井 建築業界でも、昔は「スクラップ&ビルド」といって古いビルは壊して建て替えるのがあたり前でしたが、今はリノベーションして再利用するなど意識が変化しています。すぐ劇的に変わることはありませんが、10年、20年かけてじわじわ変わっていくもの。やはり伝え続けていくことが大事なんですよね。

飯田 企業のみならずにお伝えしているのは、子供たちは将来の消費者であり、従業員候補でもあるということ。環境意識があたり前になる時代を見据えてサービスマネジメントや商品を考えていただければより良い未来が描けると思っています。

今の若い世代の環境意識は
僕らの時代とは
大きく変わってきています



業にとって子供たちは10年後、20年後のお客さん。今環境について学んでいる子供たちの感覚や価値観が未来のスタンダードになっていくわけですから。

環境を都市部で
発信することの意義

今井 もうすぐ新宿中央公園でイベントもありますよね。

飯田 はい。環境や社会に良い活動をしている企業や大学、NPOやNGOなど約70団体に「賛同いただいているもので、私たちは「まちの先生」と呼んでいるんですが、こうしたパートナー団体が年に1度集まるのがこの「新宿SDGs

今井英治郎

いまい えいじろう
岐阜県出身。株式会社三建工業の代表取締役。バックパッカーで1年半の旅行経験も。

飯田貴也

いいだ たかや
大学・大学院で「環境教育」を学び、学生時代から新宿環境活動ネットに参加。2021年から代表理事。



新宿SDGs フェス2024
(第22回まちの先生見本市！)
ワークショップや展示、地産野菜マルシェやフードなど、みんなが楽しんでSDGsを学べるイベントです。
日時：12月21日(土)
10:00~16:00
会場：新宿中央公園
芝生広場
QRコード
詳細はこちら



今、環境について
子供たちが学んでいることが
未来のスタンダードになる

フェス/まちの先生見本市！」というイベントです。今年は43団体が出展します。
今井 ぜひ伺います！ こういうことは都心でやるからこそ意味があると思うんです。僕は岐阜県の出身なんですが、周囲には当たり前になるから「自然環境は大切に」といわれてもあまりピンとこない。でも都市部の緑は都市計画に基づいて配置された緑。自然があたり前に存在しているわけではない都心だからこそ気づけることがたくさんある。これからは大人も子供も企業も知識をつけて環境活動に本気で取り組んでいかなければと思います。これまでは競争ありきでしたが、これからは企